

令和8年熊本地震への寄付のご案内

令和8年7月28日に発生した『令和8年熊本地震』にて、被災された皆様
またご親族やお知り合いが被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

元岡校区社会福祉協議会では被災された皆様が一日でも早く日常を取り戻す
ための支援として、義援金の受付を行っております。

受付は公民館窓口が開いている時間帯に事務室で受付を行います。基本的
には月曜日～金曜日（閉館日を除く）の9時～17時となります。受付期間は
9月1日～10月31日とさせていただきます。

熊本の皆様に対するあたたかいご支援を、何卒よろしくお願いいたします。

元岡校区社会福祉協議会会長 三苦 高明
元岡校区社会福祉協議会副会長 上村 経裕

元岡体育祭～2026～開催決定!!

10月11日（日） ※雨天中止

元岡小学校 運動場



今年も元岡校区の体育祭が開催されます。校区のみなさまの絆と団結
によって築き上げられる一大イベントです。子どもからお年寄りまで、
みなさんで楽しんでいただける体育祭です。今年は昨年にも増して皆
で盛大に盛り上げよう!!と思っています。たくさんの方々にご参加い
ただき、地域の絆を深めましょう。校区のみなさま、どうぞ協力よろ
しくお願いいたします。

元岡校区スポーツ振興会会長 坂本 和久／元岡校区スポーツ振興会一同

「元岡豊年まつり」フォトコンテスト作品募集 皆様ふるってご応募ください。お待ちしております!

【応募規定】

テーマ：『元岡豊年まつり・地域の風物詩』等、写真を通して元岡の良さを
発見しよう!

（元岡豊年まつりや校区内の史跡・田園風景・伝統・郷土芸能等、
地域に根差した作品）

撮影区域：元岡校区内で、撮影時期が令和7年10月から令和8年11月まで
の写真

募集締切：令和8年11月20日（金）「消印有効」

表彰：最優秀賞1点、優秀賞2点、入賞・ジュニア賞（中学生以下）数点
※賞状ならびに副賞として地域の特産物を贈呈

応募資格：元岡校区内在住・出身及びその家族、校区内在学・勤務者（プロ不可）

応募形態：A4サイズ（210mm×297mm）に限る。組写真、合成及び加工不可

応募規定：一人1点の応募とし、応募者本人が校区内で撮影した未発表の作品

応募方法：作品の裏面に、「住所・氏名・電話番号・区分（ジュニア・一般）、作
品のタイトル・天地・撮影年月・撮影場所」を記入し、封筒に入れて
郵送または元岡公民館にご持参ください。（応募作品は返却しません）

応募先：〒819-0384 福岡市西区太郎丸1-3-41

元岡公民館「元岡豊年まつりフォトコンテスト係」

審査：令和8年12月上旬（審査結果は元岡広報1/1号で発表予定）

表彰式：令和8年12月18日（金）15:30～ 元岡公民館講堂（予定）
※入賞者には別途、詳しい日時のご案内をいたします。

展示：令和9年1月上旬～2月14日予定 元岡公民館

2月22日～3月19日予定 JA福岡市元岡支店

※展示期間内は、どなたでも自由にご鑑賞ください。



【注意事項】

- ・被写体に肖像権の侵害が生じないよう応募者本人において事前に確認する。
- ・応募作品の利用権等は元岡校区自治協議会に帰属するものとし、応募者個人の著作権は主張できません。
- ・応募作品は今後の自治会活動に使用する場合があるのでご承諾ください。
- ・応募作品にトラブル等が発生した場合は、全て応募者において解決すること。

※昨年度の入賞作品を、豊年まつり当日に掲示いたします。ぜひ、ご覧ください。

元岡豊年まつり実行委員会（事務局）元岡公民館内 092-806-5132

【元岡かるた】のご案内



元岡校区の歴史や風土の特色を織り込んだ『元岡かるた』を編纂・作成しています。元岡の歴史や文化などさまざまな方面で取り上げています。別紙に詳細を書いております。ご興味がある方、ご賛同いただける方はお申し込みをよろしくお願いいたします。元岡かるた編纂委員会一同

LIFE UP 人権講演会

「医は国境を越えて」～中村哲医師37年の軌跡～

人権講演会で九州大学医学部出身の中村哲医師と共に、長年に渡りアフガニスタンで人道支援を行ってこられた藤田千代子氏のお話を聞く貴重な機会を得ました。政治情勢が不安定で危険となり合わせの厳しい状況の中「本当に苦しんでいる人々を守りたい」という一心で活動を続けてこられたその思いに胸を打たれました。講演の中で特に心に残ったのは、「100の診療所より一本の用水路を造る」という中村医師の言葉です。平和で安全で何不自由なく暮らせる日本にいる私達には、現地の悲惨な状況を想像することは難しいです。しかし、その一本の用水路によって荒地から緑の大地に変わり恵みをもたらす、それが人々の暮らしに安定と心の余裕が生まれることを、中村医師は一番大事だと考えられたことが、本当の人道支援とは何かを教えてくださいましたように感じます。

また、藤田氏が語られた「文化の違う国を自分たちのものさしで測り、劣っているとか遅れているとか思わないでほしい」という言葉にハッとさせられました。私達はつい自分達の基準で判断してしまいがちです。大切なのは現地の文化や暮らしを尊重し、現地に根付いた支援、そして広い視野を持って相手を理解しなければいけないと思いました。

現地で活動を続けてこられた藤田氏ならではの言葉にはどれも重みがあり、遠い国で起きている出来事を自分には関係ないことと思わずに、自分に何かできることはないか考えていきたいと思いました。一つの目標に向かって人々が力を合わせればどんな事もやり遂げられるということを教わり、忘れられない講演となりました。

男女共同参画をすすめる会会長/泉けやき町内会会長 森永 弘美

中村哲医師の関連図書紹介

『天、共に在り』中村 哲
『中村哲物語』松島恵利子
『希望の一滴』西日本新聞

公民館で購入しております。
ご希望の方は、ぜひご覧ください。



校区壮年ソフトボール大会結果報告



優勝：元岡チーム



準優勝：田尻1丁目チーム・泉けやきチーム

7月19日（日）に今津運動公園グラウンドで、壮年ソフトボール大会を無事に終えることができました。灼熱の暑さの中、選手の皆さま大変おつかれ様でした。また、地域の皆さまの温かい応援に感謝申し上げます。

元岡校区スポーツ振興会会長 坂本 和久/元岡校区スポーツ振興会一同



熊本阿蘇研修旅行記



熊本地震から10年が経過した。今年の自治会研修旅行は7月21-22日の日程で、熊本城および阿蘇を巡る研修を行った。1日目は猛暑の中、熊本城を見学した。天守閣は復旧しており、1階から6階の展望フロアまで見学が可能になっていたが、武者返しで有名な石垣は、いまだ完全修復には至っていない。櫓を含む完全復旧は2052年の予定で工事が進んでいる。熊本城を後にして地震で崩落した阿蘇大橋の現場を見学した。2日目は、南阿蘇村の震災ミュージアム KIOKU を見学した（写真左）。これは熊本地震の記憶や経験を後世に引き継ぐ（記憶の回廊）ための施設で、3年前にオープンした。地震で大きな被害を受けた旧東海大学阿蘇キャンパス内に位置しており、地震で崩落した山肌を望むことができる。震災遺構として保存されている地表に露出した活断層（写真右）を見た時は、鳥肌が立つ思い出であった。この後、大観峰を経由、阿蘇小国町の北里柴三郎記念館を見学し、帰路についた。地震の凄さ、凄まじさを改めて感じ、防災について、また自然との共生について学んだ貴重な2日間であった。



追記：この旅行記を書いた直後の7月28日、震度7の大地震が、またもや熊本を襲った。ちょうど研修旅行の1週間後である。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

元岡校区自治協議会副会長 中嶋 直敏